

大阪市立総合医療センターでは [がん診療地域連携クリニカルパス] を活用した医療連携を進めています

【がん診療地域連携クリニカルパス】とは・・・

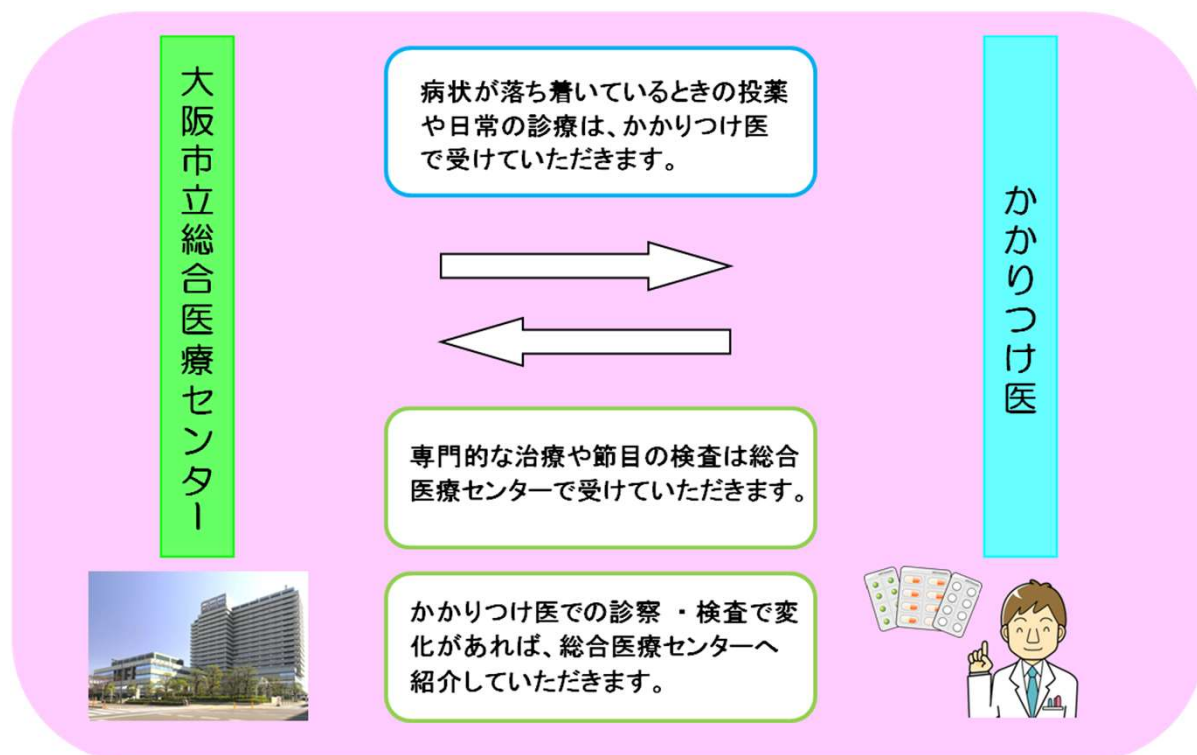
地域のかかりつけ医と総合医療センターの医師が、患者さんの治療経過を共有できる「治療計画表」のことを「連携パス」といいます。

“地域でチーム医療”をキーワードにして、地域のかかりつけ医と当センターがチームとして協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築し、力を合わせて患者さんを支えるという考え方です。

メリット

- 地域のかかりつけ医と総合医療センター
二人の主治医を持つことができる
- ご自身の治療計画や経過を把握することができる
- 待ち時間・通院時間の短縮

がん診療地域連携クリニカルパス(冊子)



大阪市立総合医療センターでは、現在以下のがん診療地域連携クリニカルパスを活用しています。

乳がん術後地域連携クリニカルパス
肝がん地域連携クリニカルパス
胃がん術後地域連携クリニカルパス

大腸がん術後地域連携クリニカルパス
肺がん術後地域連携クリニカルパス
前立腺がん治療地域連携クリニカルパス

お問合せはがん相談支援センターまで ☎ 06-6929-3632